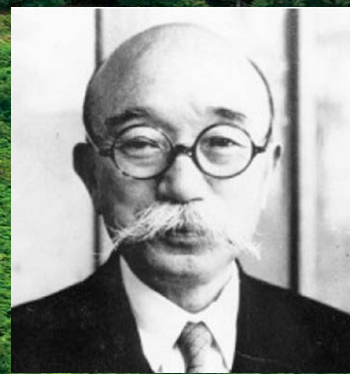


一柱も供養されない 人があつてはならない



世界無名戦士之墓建設会
代表 長谷部秀邦氏

戦争の記憶が風化してゆく中、平和について考えてみませんか。本年は、戦後80年、世界無名戦士之墓落成70年の節目です。本特集では、越生町の「世界無名戦士之墓」について取上げます。

世界無名戦士之墓とは

世界無名戦士之墓は、本町の医師長谷部秀邦氏の発願によつて建設された第二次世界大戦戦没者の納骨・慰霊施設です。

昭和20年8月に終結した第二次世界大戦で、海外の戦場で戦死した人は、軍人・軍属が約210万人、戦火に巻き込まれて死亡した一般邦人は30万人、合わせて240万人と言われています。埼玉県においても4万8千人を超える方々が犠牲となりました。収集された遺骨のうち、引き取り手のない遺骨が埼玉県庁の一室に安置されていました。

昭和24年、当時埼玉県議会副議長であつた長谷部秀邦氏は、これを憂い、英霊の無限の犠牲に対し限りない感謝と敬意を表し、一柱も供養されない人があつてはならないと決意しました。この信念のもと、世界の恒久平和を願い、越生町の大観山（標高176m）頂に「世界無名戦士之墓」の建立を発願し、児童生徒・一般市民の奉仕作業、米軍による重機の提供、保安隊（自衛隊）の協力により、29年8月に霊廟本体が完成しました。

世界無名戦士之墓は、県内出身者のみならず広く県外の方の遺骨も安置する納骨堂、世界の英霊をお祀りする慰霊施設として建設されました。当時は、国においても、このような施設の建設計画はありませんでした。世界平和祈願の殿堂、国の表徴として国賓の参拝も想定されたため、規模も大きく、意匠を凝らした個性的な建造物となっています。

現在、霊廟には埼玉県出身者の遺骨二百数十柱が安置され、全国、世界の英霊の冥福を願つて納められた位牌や、県内各地の英霊名簿などが納められています。

なお、「無名戦士」とは、名前のわからないという意味ではなく、位階を超越し、一切無名平等にお祀りするという意味で、「世界無名戦士之墓」と名付けられました。

世界無名戦士之墓慰霊大祭並びに越生町戦没者追悼式

毎年5月の第2土曜日には、世界平和を祈念して、世界無名戦士之墓慰霊大祭並びに越生町戦没者追悼式が開催されます。霊廟で厳かに行われる式典では稚児たちが供花し、同夜、盛大に開催される鎮魂の花火大会は、たくさんの露店が出て大勢の人でにぎわいます。



登録有形文化財



令和2年4月3日に国登録有形文化財として登録されました。この建物は昭和30年（1955）年に落成され、越生町のシンボル、ランドマークとして親しまれている、世界平和を希求する日本国民の意思を具現化した記念碑的建造物です。



【構造・形式】鉄筋コンクリート造3階建
【建築面積】210㎡

①完成当時の無名戦士之墓の様子 ②トロツコに乗車している埼玉県知事と長谷部秀邦氏 ③保安隊（自衛隊）ブルドーザーによる造成の様子 ④世界無名戦士之墓慰霊大祭花火大会

～世界無名戦士之墓の維持管理に対しての寄附金をいただきました～

【令和7年度】

寄附者 平和への祈り ART & MUSIC in OGOSE 実行委員会 様
寄附金額 119,591 円

【令和6年度】

寄附者	寄附金額
越生町遺族会 様	50,000 円
解脱会 様	30,000 円
立正佼成会川越教会 様	20,000 円
西入間モラロジー事務所 様	20,000 円
ハルモニアンシンフォニー 様	10,000 円

ご協力いただいた方々に改めて御礼申し上げます。
「世界無名戦士之墓」維持管理のため、ご寄附を募集しています。
詳細は下記までお問い合わせください。
☎一般財団法人世界無名戦士之墓顕彰会（会計課 会計担当）
☎ 049-292-3121